

平成 26 年度 地球環境基金助成事業・県民の環境活動支援事業

ちば里山カレッジ実施報告書 (7)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	第7回 里山体験活動1 「フィールド研修 里山整備作業実習」
日時	平成26年10月18日(土)
場所	豊富どんぐりの森活動地森林(船橋市) 船橋市北部公民館
出席者	29名(欠席9名) 講師 3名 アシスタント講師 3名 主催者 2名 スタッフ 1名
内容	<p>9:30～9:45 作業準備</p> <p>9:45～10:00 全体朝礼(講師;木村正敏・森浩也・野口安佳里)</p> <p>10:00～15:00 作業実習(3班に分かれて) 大隅 岨一・中嶋 守男・俊 淳一 *チェーンソーによる伐採方法の説明&デモ *チェーンソーによる丸太切り(訓練) *チェーンソーによる伐採作業実習 *伐採倒木の枝落とし及び玉切り作業実習 *刈払機による除草・整地作業実習</p> <p>15:00～15:30 作業用具の片づけ&全体終礼</p> <p>16:00～16:20 豊富どんぐりの森紹介 豊富どんぐりの森 代表 鈴木 恵子</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・木村講師による伐採方法の説明&デモ。その後3班に分かれて作業実習を行った。初めに、丸太を使い受け口・退口の作り方を説明。各自が順番に体験しチェーンソーの使い方や伐倒の際に注意すべきことを繰り返した。 ・続いて班ごとに森の中に進み、伐倒する木を選んで作業の実習。3班共に大きな木を選んだ。伐倒方向を決める→その際の注意点は? 逃げる方向・掛かり木の心配はないか・その解決法は…等々前回の講義を活かしてKYTの話し合いで意見を出し合った。次に、伐倒者を選び、実際にチェーンソーでの伐倒作業に入った。受け口をつくる際のほんの少しのずれで伐倒方向が変わってしまうこと、切り残す部分の幅によって木が倒れだすスピードが違うこと、その一瞬の変化を見てとり安全な方向に逃げなくてはいけない等、危険について配慮すべきことをしっかり理解するよう指導を受けた。 ・大きな木が倒れる瞬間の感動に歓声があがった。 ・倒れた木の枝落としをする際にもチェーンソーの操作の色々を体験した。 ・木の本体は、約1メートルずつ数本(後で受け口・追口を実習する丸太として)、残りは運びやすい大きさに玉切りをして、片付けた。豊富どんぐりの森では、森を片付けるときには何か所かに集めて積み上げておき、自然に土に還るようにしている。それぞれの班でも受講生が手分けをしてきれいに片付けた。 ・作業の後は、チェーンソーの分解と手入れをして作業終了。 ・アシスタント講師の皆様のご案内で森の中を一回り。どんぐりの森は約3分の一は人の手を入れない状態なので野兎やタヌキなどの動物も多いとのこと。 ・船橋北部公民館にて豊富どんぐりの森の活動紹介。

添付資料（写真）



木村講師



丸太を使って訓練



みんなも協力」



班ごとに分かれて



交代で訓練



1班が伐倒する木



切る木の周りをよく調べる
伐倒する方向は良いか？



伐倒者以外は退避



倒れた！



2班も片付け



3班の木



土に還るように



最後まで気を抜かないで



すっかり片付いた



時間の許すまで練習